

絶滅危惧種「ホトケドジョウ」の住んでいる場所を教えてください！



ホトケドジョウ

ホトケドジョウは山梨県のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類（県内において絶滅の危険が増大している種）に指定されている魚です。かつては、湧水の流れる小川や水路、水田などに多く生息し、郡内地方を中心に「オカメ」「ヌマ」などの愛称で親しまれていました。しかし、環境の悪化などにより、近年、生息数が急激に減少しています。県水産技術センターでは、ホトケドジョウを保全するため県内の生息状況の調査を進めています。

山梨県内のここで「ホトケドジョウ」を見たことがある！という情報をお持ちの方、ぜひ情報をお寄せください！ *ホトケドジョウの見分け方は別紙を参考にしてください。

☆ 対象者

山梨県でホトケドジョウが現在または過去にすんでいた場所を知っている方。

☆ 情報提供の方法

下の調査票1～3の内容について、記入したものをFAXで送信いただくか、電話、e-mailでご連絡ください。*FAXとe-mailの方はお名前とご連絡先をご記入ください。

☆ 連絡先

水産技術センター忍野支所（担当：加地）

- ・ 電話：0555-84-2029（受付時間：平日 8:30-17:15）
- ・ FAX：0555-84-3707
- ・ e-mail：suisan-osn@pref.yamanashi.lg.jp

ホトケドジョウ調査票

お名前 （ ）

ご連絡先（電話番号またはe-mail）（ ）

1 生息地の場所（市町村、地区名、目印になる場所など）

2 確認した時期（〇年〇月頃等）と現在の状況（分かる方のみ）

ホトケドジョウの見分け方とすんでいる場所

① 頭が大きく、ずんぐりと太い体型



☆すんでいる場所で体の色やもようはちがいます。



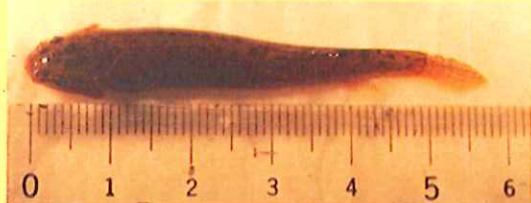
☆上からみると頭が大きく目立ちます。

③ 腹は内蔵がすけて赤みがかった色をしている

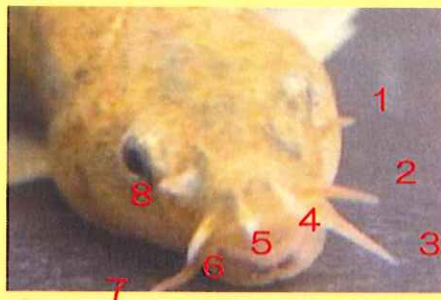


☆産卵期（春～夏）のメス（写真下）は卵をもって腹が黄色く目立ちます。

② 体の長さは親で 5cm～7cm と小型



④ 口のひげは8本



～ホトケドジョウがすんでいる場所～

湧水（わき水）の流れる小川や用水路、湧水を引き込んだ水田のまわり



☆湧水が近くにある場所で多くみられ、流れがゆるやかでまわりに植物の生えている場所を好みます。
☆流れが早い溪流や大きな川ではほとんどみられません。

～ホトケドジョウとまちがえやすい魚、「ドジョウ」～



☆ホトケドジョウより大型で細長い体つきをしています。
☆親は 15cm 以上になるものもあります。



☆口はホトケドジョウよりも下向きで、ひげは 10 本。